

6. 甲状腺がん

○

○:専門とするがん ×:診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○:あり ×:なし

○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況(○:実施可/×:実施不可) /昨年実績(あり/なし)※平成25年1月1日~12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を 専門として いる医師数	手術	化学療法	放射線療法				ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容			
					体外照射	IMRT	小線源治療	放射性ヨード内用療法			治療内容	治療実績	医師の専門分野	
1	外科	8	1	状況	○	○	×	×	×	×	甲状腺癌の大半を占める乳頭癌は、比較的進行が遅く予後も良好であることが知られていますが、未分化癌や低分化癌は極めて進行が速く、また治療に抵抗するため場合によっては発見された時点で3か月の命ということもあります。症例の大半を占める乳頭癌や濾胞癌では手術による腫瘍摘出が治療の第一選択です。一方、未分化癌は手術を中心として放射線治療や化学療法を組み合わせた治療が計画されますが、進行が速いため現実には治療をすることさえ困難な場合があります。	外科		
				実績	あり	なし	なし	なし	なし	なし		ア http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/department/shinryouka/geka/index.html		
2	放射線科	4	1	状況	×	×	○	×	×	×		放射線科		
				実績	なし	なし	なし	なし	なし	なし		ア http://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/department/shinryouka/housyasenka/index.html		
3				状況								ア	http://	
				実績								イ	http://	
4				状況								ア	http://	
				実績								イ	http://	
5				状況								ア	http://	
				実績								イ	http://	

例: 甲状腺がん 昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	甲状腺がん 甲状腺がん
--	----------------